

統計とっとり

平成22年3月
第99号
鳥取県企画部統計課
TEL 0857-26-7103
FAX 0857-23-5033

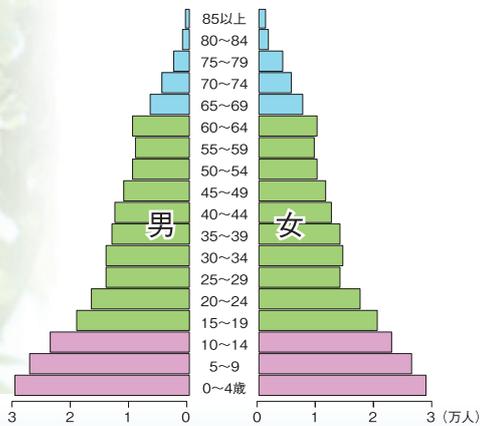
統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>

人口ピラミッドでみる鳥取県人口の移り変わり

～国勢調査結果から～

大正9年(1920年)

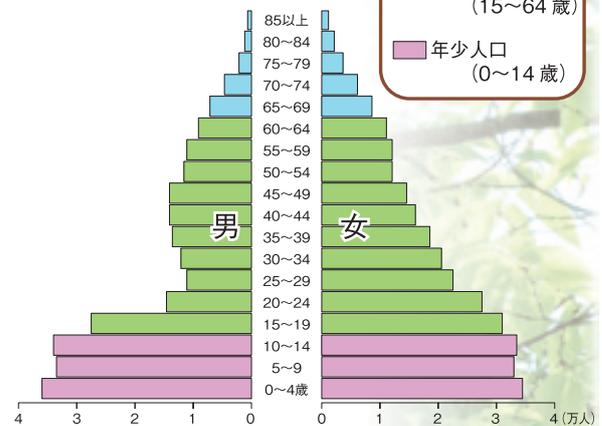
454,675人



「文明国の仲間入り」を合言葉に第1回国勢調査が行われました。

昭和22年(1947年)

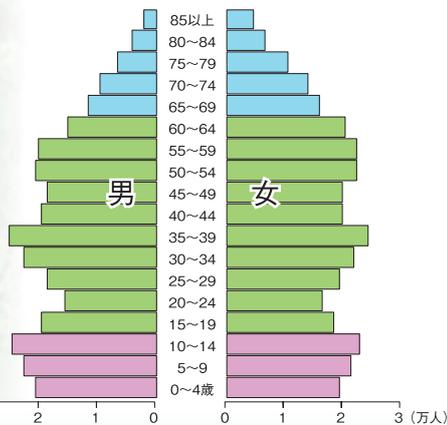
587,606人



20~30歳代の男性が大きく欠けたピラミッドに戦争の悲惨さが現れています。この年、赤い羽根共同募金がスタートしました。

昭和60年(1985年)

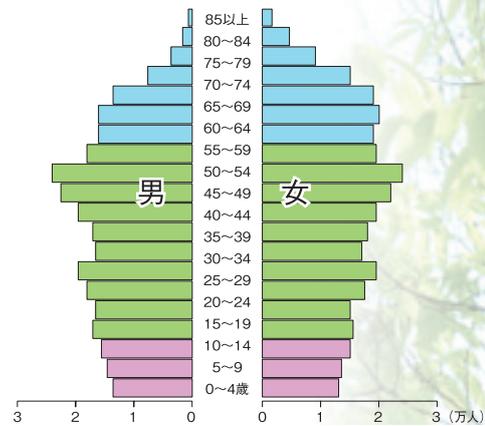
616,024人



わかとり国体開催の年。県民と全国から集まった選手との温かい交流が繰り広げられました。

平成17年(2005年)

607,012人



10月に北栄町が誕生して鳥取県における「平成の大合併」は完了。4市14町1村となりました。

さて、平成22年はどのような形を描くのでしょうか...

いよいよ始まります 平成22年国勢調査

統計調査員の皆様へ

平成22年10月、大正9年の第1回目から数えて第19回目の国勢調査が行われます。鳥取県内では、約21万世帯に調査票をお配りし、調査票の配布と回収など約4千人の指導員、調査員の方に活動していただきます。

近年、プライバシー意識の高まりから各種統計調査への協力が得られにくい状況があり、調査票の回収率を上げるため、今回の国勢調査では調査票の封入提出と郵送提出方式が導入されます。皆様には、主旨を御理解いただきまして、より正確な調査の結果が得られますよう御協力をお願いいたします。

また、調査員の皆様には

① 事故やケガのない安全な調査活動

(平成17年調査時の事故やケガの報告11件)

② 調査票や調査員証の丁寧な取り扱い

などに注意していただき、無事に調査が終了できますようよろしくお願いいたします。



統計課長 中林 圭一

国勢調査とは

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人・世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにし、各種施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

国が行う統計調査の多くは、統計法に基づく基幹統計調査として実施されています。その中で、国勢調査は唯一、統計法で5年ごとに実施することが定められています。

調査票の提出方法

今回の調査から調査票の提出方法が改善されます。

1 調査票の封入提出方式の導入

・すべての世帯で調査票を封入して提出していただきます。

これは、調査票の記入内容を調査員に見られたくないとする世帯が増加しているために導入されました。

2 郵送提出方式の導入

- ① 従来どおり調査員へ直接提出
- ② 郵送による提出

①、②のどちらで提出するかは、世帯が選びます。

これは、日中不在がちな世帯が増加していることや市町村に提出したいとする世帯のために導入されました。

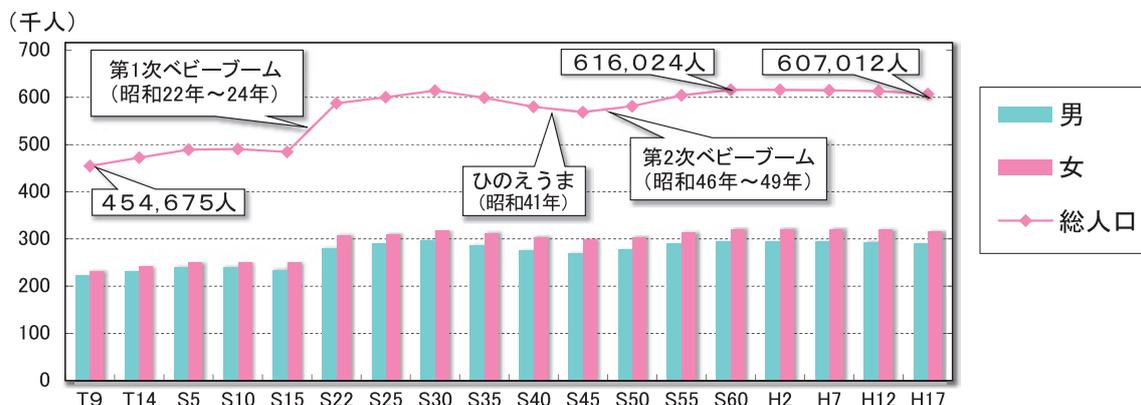
調査の流れ

調査は、国勢調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布する方法で行われます。調査完了後は、すべての調査票が総務省統計局に集められ、独立行政法人統計センターで集計されます。



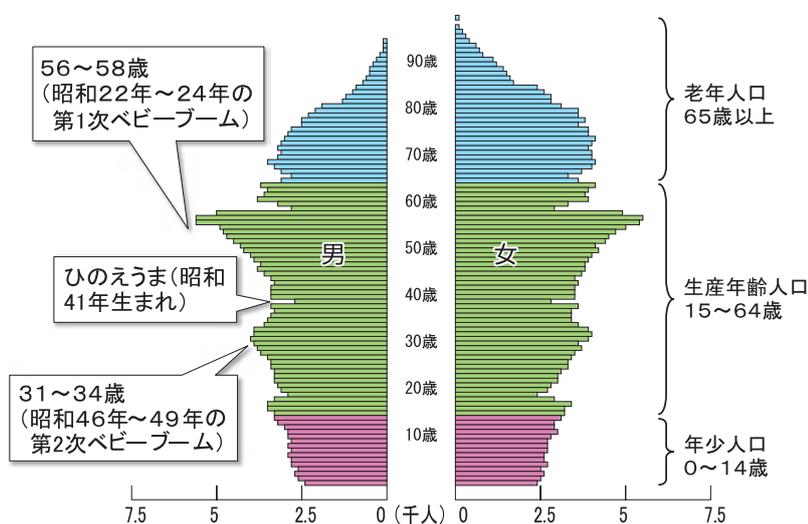
平成17年国勢調査結果から・・鳥取県の姿を見てみましょう

(鳥取県の人口推移は?)



大正9年から平成17年までの国勢調査の結果を、総人口を折れ線グラフで、男女別人口を棒グラフで表しています。総人口は戦後の昭和22年から増加を始めています。いわゆる第1次ベビーブームです。そして、昭和30年から集団就職による若者の県外流出などにより減少しています。その後、第2次ベビーブームが到来し人口は増加を始め、わかとり国体が開催された昭和60年には616,024人に達しました。これが県人口の最大値で、以後減少しています。

(各歳男女別人口ピラミッドを読む)

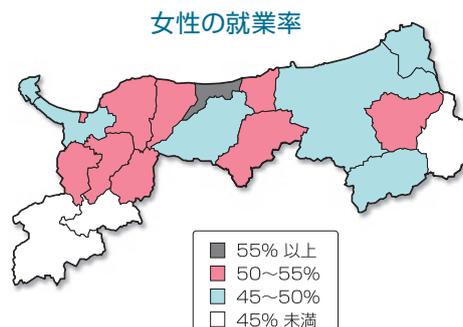


0~14歳(年少人口)、15~64歳(生産年齢人口)、65歳以上(老年人口)に色分けをしています。

男女とも、第1次ベビーブームに生まれ、団塊の世代といわれた人達が50歳代後半に達し、この部分の人口が一番多く、突出しています。昭和46年から49年の第2次ベビーブームも低い山を形作っているのがわかります。生産年齢人口の真ん中辺りの急なへこみは、昭和41年のひのえうまに産まれた人々です。年少人口は少子化を物語っていて、寂しさを感じさせますね。

(女性の就業率は北栄町がトップ)

国勢調査結果から、就業者数や就業率がわかります。就業率とは、15歳以上の人口に占める就業者の割合のことです。ここでは、市町村別の女性就業率を見てみましょう。トップは北栄町の58.9%、2位は湯梨浜町で54.8%です。一番低いのは若桜町で44.4%でした。鳥取県平均の女性就業率は49.9%で全国6位と高い位置にあります。鳥取県の女性は働き者ですね。



平成21年度 統計功労者表彰式・統計セミナー開催

平成21年度統計功労者表彰及び統計セミナーを鳥取県、鳥取市、鳥取県統計協会の主催により、平成21年11月18日(水)、さざんか会館大会議室(鳥取市富安)で約100名の参加を得て盛大に開催しました。

統計功労者表彰式

表彰式では、統計に功績のあった方々や団体に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰が厳かに行われました。

各省大臣表彰は、総務省統計局国勢統計課調査官羽淵達志氏より伝達され、また、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰は、鳥取県企画部林昭男部長より授与されました。

受賞者を代表して、鳥取県知事表彰受賞者の小谷邦子調査員より「今日の日を迎えることができましたのは、多くの方のご支援によるもの。調査業務は、行政施策の基礎となり生活の向上に繋がる重要な仕事と再認識し、今後一層の精進を重ね、引き続き業務にあたりたい。」と謝辞が述べられました。

また、瑞宝単光章を受けられた小原幸子調査員、山根啓子調査員、藍綬褒章を受けられた岩本正人調査員からお喜びの言葉を頂きました。



林部長による挨拶



表彰状の授与



小谷邦子調査員より謝辞



講演される
羽淵調査官



食育の重要性を
力説される林幸子氏

統計セミナー

表彰式に引き続き、統計セミナーが開催されました。「平成22年国勢調査に向けて～明日の日本のために～」と題して、羽淵調査官から国勢調査の意義と役割や、人口の現状について説明をしていただきました。また、「食育の実践は家庭から」と題して、鳥取市中央保健センターの林幸子氏から、健康的な食習慣を身に付けるために、バランスの良い食事の例を交えたお話を伺いました。

受賞の皆様おめでとうございます

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 谷尾 早苗 (鳥取市)

調査員 吉川 早苗 (伯耆町)

小売物価統計調査

調査員 太田 容子 (鳥取市)

家計調査

調査員 奥田 玲子 (鳥取市)

平成20年住宅・土地統計調査

指導員 福安 和子 (鳥取市)

調査員 三輪美奈子 (境港市)

各種統計調査

調査員 三柳 二郎 (米子市)

調査員 加藤 良子 (日野町)

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 株式会社ベルモニー米子店
(米子市)

事業所 日本ハイコン株式会社
(米子市)

事業所 みつわビル管理株式会社
(米子市)

事業所 株式会社日新(境港市)

事業所 株式会社鳥取県食肉センター
(大山町)

調査員 植田登美子 (倉吉市)

農林水産大臣表彰

2008年漁業センサス

調査員 若林 紘子 (鳥取市)

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 手島 功世 (境港市)

調査員 豊嶋 文江 (琴浦町)

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 神鋼 JFE 機器株式会社
(倉吉市)

事業所 高砂工業株式会社
(倉吉市)

永年従事調査員

調査員 小谷 邦子 (鳥取市)

調査員 安藤 諭 (米子市)

調査員 末吉 一幸 (米子市)

調査員 松本 清次 (岩美町)

調査員 清水 光代 (北栄町)

鳥取県統計協会会長表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 株式会社尾崎(鳥取市)

事業所 株式会社ダイフィット
(倉吉市)

統計調査員功績者

調査員 漆原 文雄 (鳥取市)

調査員 秋吉由紀子 (鳥取市)

調査員 神田美由紀 (倉吉市)

調査員 大羽 昌子 (倉吉市)

調査員 島村 俊一 (境港市)

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 漆原 一榮 (鳥取市)

調査員 牧田 純江 (北栄町)

(敬称略・順不同)



平成21年秋の栄典 3名の方が栄誉に輝く

瑞宝単光章 小原 幸子 調査員(鳥取市)



平成21年秋の叙勲受賞の栄誉を賜り、家族ともども喜びで一杯になりました。

11月6日、皇居に参内し豊明殿に於いて天皇陛下に拝謁の栄誉とともにお言葉まで賜り、感激の極みでした。

調査員としていろいろな人との出会いが私にとって一生の宝物です。この度の受章は、今まで自分の歩んできた道を振り返るよい機会でもあり、この仕事に誇りを持ってますます精進してまいりたいと思っています。

これはひとえに調査に御協力して下さった多くの方々また、日ごろより心温かいご指導ご支援を賜りました皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

瑞宝単光章 山根 啓子 調査員(米子市)



平成21年秋の叙勲で瑞宝単光章受章の栄誉を賜り、身に余る光栄に感激で一杯でございます。

顧みますと、昭和48年より各種統計調査に携わってまいりました。

この度の受章は、事業所並びに多くの方々の御協力と県や市の担当の方々の温かい御指導の賜物と心より感謝してやみません。

去る11月11日、伝達式場で全員起立し、君が代の斉唱の時の深い感慨が今も尚蘇ってまいります。実に荘厳な儀式に心のふるえを覚えました。これこそ、生涯忘れえぬ宝物となりました。

今後は、この栄誉に恥じることはないよう精進したいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

～歌を紹介します～

- ・今日もまた統計調査へとペダル踏む子に送られて稲の間に間に (調査員を始めた頃の句)
- ・統計に歩んで30数年矢の如し栄えある受賞や柿もたわわに (受賞記念の句)

藍綬褒章 岩本 正人 調査員(大山町)



平成21年秋の褒章に際し、藍綬褒章拝受の栄に浴しました。

去る11月10日褒章の記・褒章の伝達を受け、引き続き家内共々皇居に参内し春秋の間に於いて天皇陛下の拝謁の栄誉とともに、お言葉まで賜り感激の極みでした。

これも偏に永年にわたる皆様のご指導、ご支援の賜と深く感謝しております。

今後は、この栄誉に恥じないよう一層精進し、いささかなりともご芳情に報いたいと思っております。

経済センサスー基礎調査研修会を開催

平成21年5月23日(土)、24日(日)に経済センサスー基礎調査に関わる統計調査員研修会を開催しました。23日の鳥取会場には106名、24日の米子会場には72名の参加がありました。

総務省政策統括官付産業関連統計検討室の小石雄一氏が「経済センサスの謎」と題して経済統計の現状について、また、ビジネスパートナーOHNO代表大野正人氏には「コミュニケーション能力向上のために」と題してユーモアあふれる講演をしていただきました。



楽しいお話をされた大野講師

平成21年度登録調査員中央研修に参加しました

登録調査員中央研修は、原則10年以上の経験を持つ統計調査員を対象に、登録調査員の資質の向上と都道府県の相互交流を図ることを目的に、総務省が毎年実施しています。

本年度は12月2日～3日に開催され、鳥取県から2名(米子市調査員)が参加しました。来年度は倉吉市の調査員2名に参加していただく予定です。

参加の登録調査員よりグループ討議の感想を一言

岡空悠一郎調査員

真剣で緊張感のある研修だった。各自が地域性やそれぞれの現場や客体に合わせていろいろな手法、アイデアを持っていることがわかった。

三柳二郎調査員

同じ仕事、悩みを持っているもの同志の連帯感みたいなものがあり和やかな雰囲気であった。



グループ討議で意見交換する
岡空さん、三柳さん

「食のみやこ鳥取」に統計ブースを出展

平成21年10月10日(土)、11日(日)にコカ・コーラウェストパーク(鳥取市布勢)で開催された「食のみやこ鳥取」に統計課のブースを出展し、多くの方々に統計に関心を持っていただくことを目的に、統計パネルの展示や統計クイズを実施しました。大勢の方に立ち寄って統計クイズに参加していただき、準備していた幼児向けの風船も空っぽになる盛況ぶりでした。



パネル展示で統計普及を図る 鳥取県統計調査員会



東部支部 平成21年10月3日(土) とりぎん文化会館

西部支部 平成21年12月12日(土) 米子市文化ホール

東部支部では「女と男とのハーモニーフェスタ」の会場において、また、西部支部では「米子市公民館ふれあい発表会」において統計パネルの展示が行われました。

これらのパネルは、統計課や統計調査員会で活用するほか、希望により貸し出しも行っています。どうぞご活用ください。

統計グラフ全国コンクール入選!!

平成21年度鳥取県統計グラフコンクールの入賞作品13点を全国コンクールへ出品したところ、倉吉市立鴨川中学校2年 ^{やまがたまなみ}山方愛充さんの「7分で1種の動物がいなくなる?」の作品が見事入選しました。



作品は、10月23日(金) あいおい損保新宿ホール(東京都新宿区)で開催された「統計フォーラム2009」の会場に展示されました。



右端が山方さんの作品

平成22年度に実施される

よろしく
お願いします

統計調査(調査員調査)の一覧

(平成22年2月1日現在)

調査名 市町村	市町村委託分		県直接調査分									
	平成22年国勢調査	工業統計調査	家計調査	小売物価統計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第二種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	生産動態統計調査	商業動態統計調査	特定サービス産業実態調査	鉱工業生産動態調査
鳥取市	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
米子市	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
倉吉市	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
境港市	○	○			○		○	○	○	○	○	○
岩美町	○	○		○			○	○	○		○	○
若桜町	○	○					○	○	○		○	
智頭町	○	○	○		○		○				○	○
八頭町	○	○			○			○	○		○	○
三朝町	○	○			○		○				○	○
湯梨浜町	○	○					○	○			○	
琴浦町	○	○			○		○	○	○		○	○
北栄町	○	○							○		○	○
日吉津村	○	○									○	
大山町	○	○			○				○		○	○
南部町	○	○			○		○		○		○	
伯耆町	○	○			○			○	○		○	○
日南町	○	○									○	
日野町	○	○						○			○	
江府町	○	○			○		○	○			○	○

注1: ○印は対象市町村を示す。

注2: 毎月勤労統計調査(第二種)及び商業動態統計調査については、実施市町村が変更になることがあります。

注3: 特定サービス産業実態調査については、調査対象事業所が少ない町村は郵送調査になることがあります。